

環境学習施設研究部会 日帰り視察研修会 2022 報告書

環境学習施設研究部会では、「最新の施設を学ぶ」をテーマに、2022年6月にオープンした最新施設「エコクリーンピアはりま」（兵庫県高砂市）において、日帰り視察研修会2022を実施した。本施設の事業主体は高砂市で、加古川市、稲美町、播磨町からの事務委託という、関西では珍しい組織構成である。

今回は2年ぶりの日帰り視察研修会であり、2019年春に続き参加者59名で、募集人数を超えた催行となった。

また近年、女性の参加者が増えてきた。日帰り視察研修会だけでも、ほぼ同数の2019年は参加60名中14名（約23%）、本年は参加59名中20名（34%）と伸びている。一方、参加者の多くがプラントメーカーの方で、環境学習施設の運営にあたっている方々や、大学等の研究者、廃棄物処理事業者の方もおられた。今後の活動への参画も期待したい。

視察の概要

12月5日（月曜日）

- 13:00 JR 加古川駅前 集合
- 13:30 エコクリーンピアはりま 着
- 3D 施設紹介映像視聴・概要説明
- 施設視察
- 質疑応答フォーラム
- 16:20 エコクリーンピアはりま 出発
- 16:40 JR 加古川駅前 解散
- 17:00～ 有志による意見交換会



図1：施設概要説明と施設紹介立体映像

最初は4階の会議室でオリエンテーションである。入室してまず目に入ったのは、テーブル上の眼鏡だ。眼鏡は立体映像用で、全員装着して子ども向けの施設紹介立体映像を視聴した。立体映像はパイレーツ（海賊）仕立

てのアニメ物語で、施設全体を海賊船と見立て、各処理工程や機器を擬人化して紹介する楽しいストーリーである。ストーリーもご紹介したいところだが、是非とも視察されて、子ども向け施設紹介の立体映像を視聴されることをお勧めする。

次に、エコクリーンピアはりまの金尾昭氏から、事業主体の組織構成に関する長所・短所をはじめ、本施設の概要説明をうかがった。また、DBO（Design-Build-Operate）方式でプラント建設に携わった株式会社神鋼環境ソリューション、そして20年間の運営・維持・管理事業を行っている株式会社高砂環境サービスのみなさんから適宜説明をいただいた。

概要説明のあとは、施設見学。管理棟にある会議室を出て、廊下を渡り不燃・粗大ごみ処理施設へ向かう。

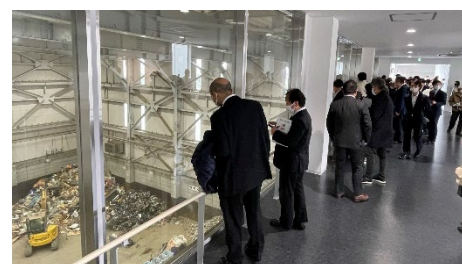


図2：プラットホームと選別機械室等

通路の途中で右手にプラットホームをながめ、中央制御室から選別機械室へ。そして、とても長い廊下を通り、可燃ごみ処理施設へ向かう。



図3：長い廊下と壁面解説パネル

可燃ごみ処理施設は、3階は中央制御室とプラットフォーム、さらに4階に上がると、クレーン操作室からごみピット、炉室とタービン発電機室へと続く。



図4：3階の中央制御室周辺とトラックアート等

可燃ごみ処理施設の4階は、廊下で管理棟の屋上フロアにつながり、屋上庭園に出る。



図4：屋上庭園

管理棟の3階は、環境学習コーナーである。まず、目に入るのが、ベビー用品。ベビー用品のリユース事業が大人気とのこと。他、発電チャレンジや環境クイズ等の楽しく学べる工夫満載の環境学習展示設備が勢揃い。



図5：環境学習コーナー

施設見学後は、質疑応答フォーラムである。参加者からの様々な質問に対して、エコクリーンピアはりまのみなさまから丁寧な説明をいただいた。具体的には、映像内容、職員数、コロナ禍対応やベビー用品リユース等の運営関係、そして回転ストーカ炉等の技術関係である。

最新の充実した環境学習設備や運営手法等の視察は、参加メンバーにとって誠に良い勉強の機会となった。エコクリーンピアはりま、株式会社神鋼環境ソリューション、株式会社高砂環境サービスの皆様にお礼申し上げます。また、遠方よりご参加いただいた多くの皆様のご協力に感謝申し上げます。

(文責：鈴木榮一)



図5：ごみピットや炉周辺の展示物